

○常磐大学大学院人間科学研究科修士（人間科学）学位論文審査細目

制 定 2006年1月24日 人間科学研究科委員会

1 修士論文の審査

- ① 修士論文の審査は、論文審査と最終試験（口述試問）で行う。
- ② 論文審査および最終試験（口述試問）は論文審査委員会が行う。論文審査委員は主査1名、副査は2名以上で構成する。
- ③ 論文審査と口述試問はそれぞれ独立に評価する。
- ④ 各委員は、論文審査を行い、それぞれ評価をして別紙の修士論文審査票を作成し、口述試問前に論文審査委員長に提出する。
- ⑤ 論文審査委員長は審査委員会を開催し、各委員と協議の上総合評価を行う。
- ⑥ 論文審査委員長は、研究および審査の概要ならびに総合評価を修士（人間科学）学位論文審査報告書に記載し、研究科委員会に報告する。
- ⑦ 研究科委員会は、論文審査委員会から提出された修士（人間科学）学位論文審査報告書と各委員の報告に基づき最終審査を行う。

2 論文審査の評価項目

修士論文の評価は以下の項目について行う。

(1) 書式について

- ① 論文の構成
- ② 論旨の明快さ
- ③ 文章の表現

(2) 論文の内容

- ① 研究題目
研究内容を明確に示した題目となっているか。
- ② 研究目的・研究課題
研究目的・研究課題について詳細かつ十分な情報を明記しているか。
- ③ 研究目的に関わる理論的背景と関連する先行研究
問題としている研究領域に関連する文献・資料を十分に収集・分析しているか。
研究の理論的背景をきちんと述べているか。
- ④ 研究方法
研究方法（調査、実験など）、研究場所、研究期間、研究データ収集法などを詳細に明記しているか。
- ⑤ 結果
研究課題を明らかにするために適切なデータ処理が行われているか。
結果から導き出された事実をきちんと述べているか。
- ⑥ 考察
研究目的がどの程度達成されたのか、研究結果に基づいた考察がなされているか。
研究結果の妥当性の検討が行われているか。
- ⑦ 研究の意義、研究の倫理的課題
研究目的が達成されることはどのような意義があるのかを記しているか。
研究課題、研究手法の倫理的問題が十分に検討されているか。
- ⑧ 将来への展望
将来への展望がなされているか。
- ⑨ 総括
研究全体についての総括が行われているか。
- ⑩ 要約

- キーワード、研究目的、方法、結果といった内容が簡潔明瞭に要約されているか。
- ⑪ 引用文献
引用した先行研究がリストとして作成されているか。
著者名（アルファベット順または五十音順）、年、書名・論文名、出版社・雑誌名、巻、号、ページなど出典を記しているか。
- ⑫ 補足
研究計画に関わる書類（研究資料、生データなど）を補足資料として添付しているか。

3 最終試験（口述試問）

以下の項目に基づいて評価を行う。

- ① 論文内容を短時間で明確に説明できたか。
② 審査委員からの質問に的確に答えられたか。

4 評価

論文審査および最終試験（口述試問）の評価はそれぞれ下記の4段階評価とする。

- A 優れている (合格)
B 普通 (合格)
C 劣っている（セメスター内で修正可能の場合に限る） (合格)
D かなり劣っている、または大幅な修正を要す (不合格)

5 総合評価

最終審査の総合評価は、論文審査および最終試験（口述試問）により行う。

審査委員長は、論文審査委員の協議に基づき修士（人間科学）学位論文審査報告書に総合評価を記載する。

研究科委員会で審査された結果に基づき、合格で修正のある場合のみ期日を設けて修正させる。

附 則

- 1 この細目は、2007年度入学生より適用する。
2 この細目の改正条項は、2009年度入学生から適用する。